

## 小学校外国語活動を生かした指導

(その4)

### ～ 小学校で慣れ親しんだ活動そのものを取り入れる① ～

小学校外国語活動では、英語に慣れ親しむことを目的とした様々な活動が行われています。

多くの小学校で使用されている “Hi, friends!” にも次のような活動が紹介されています。

すでに中学校で  
実施されているも  
のもあります。

- チェーンゲーム
- インタビュー
- Who am I?
- ビンゴ
- カルタ
- メモリーゲーム
- ポイントティングゲーム
- スリーヒントゲーム
- キーワードゲーム など



小学校で慣れ親しんだ活動をそのまま取り入れることで、生徒の心理的なバリアが取り除かれ、新しい表現などにも積極的に取り組むことができます。特に、中学校1年生の1学期には有効だと思います。

#### 活用する際の 留意点

1 それぞれの活動の「ねらい」を確認する。



2 「授業のねらい」達成のために取り入れる。

3 授業のメインの活動ではないので、短時間で効率的に行う。

※ これらの活動だけでは、授業のねらいは達成できません。これらの活動を通じ短時間で確認したことを、メインの活動で活用できるような授業を展開することが大切です。

ここでは、中学校で活用できる活動を三つ紹介します。二回に分けて紹介します。

その1

## キーワードゲーム

### ねらい

新出語の練習（繰り返し聞いて発音する）

### 活動の種類

1 聞く活動 2 口まねする活動

外国語活動の主な活動は、

- 1 聞く活動
- 2 口まねする活動
- 3 記憶し自分のものにする活動
- 4 自分の意思で選んで発話する活動

の四つがあります。

### 特徴

- ・ゲームの中で、英語を自然に聞き、発音することができる。
- ・手軽に行うことができる。

### 方法 【ペア活動】

(1) (児童) 二人の間に消しゴムなどやわらかい物を置く。

(2) (指導者) キーワードを伝える。

(3) (指導者) 児童の手を頭などに置くように指示する。

※ Put your hand on your head. 等と指示する。

head の部分を他の語(shoulders, knees…に変えて指示する。)

(4) (児童) 指導者の言う英語を、全員でリピートする。

(5) (児童) 指導者がキーワードを言った時のみ、二人の間に置いてある消しゴムをとる。

### 中学校での活用例

#### 表現活動の前に、同じ品詞の語等を数多く確認したい時に活用

例) I want to be a … を表現させたい時  
導入時に職業名をこの活動で練習する。

K中学校では、2年生でもこの活動を取り入れています。テンポ、リズム等に変化を加えることで、より意欲的に取り組んでいました。事前に、将来就きたい、または、興味のある職業名をリストアップし、それらの語彙を中心に活動させる等の工夫も見られました。

※ New Crown English Series 1 にも、アルファベットを学習するための活動として、キーワードゲームが紹介されています。